

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和55年9月24日 第24報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	100		
(藍) <i>Lyngbya limnetica*</i>	60		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	120		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	340	○	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3200	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	240		◎
(藍) 藍藻綱	160	3.5	0.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	220	4.8	2.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	2.2	1.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4060	89.4	96.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4540	総体積	1.24E+07
種類数	13	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

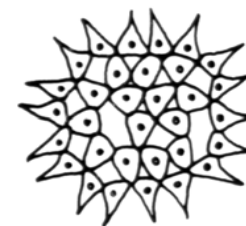
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	3200

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	340

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Planktosphaeria gelatinosa***  
(プランクトスフェリア)  
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。